

保護者の皆様へ

丹波篠山市立篠山東中学校
校長 尾松 直樹

「教育アンケート」のお礼と結果のお知らせ

向春の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。平素は本校教育に対し温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、「教育アンケート」では、お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。遅くなりましたが、その結果についてご報告いたします。

皆様からいただきました貴重なご意見を参考に、今後の教育活動に取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

※下の表には全学年の集計結果を反映させています。また「平均指数」とは「4（よくあてはまる）」から「1（まったくあてはまらない）」の4段階で回答いただいたものを平均した値で、「指数順位」とは生徒、保護者ごとに「平均指数」の中での順位を、高いものから順に表しています。

令和6年度丹波篠山市立篠山東中学校「学校評価」まとめ

分野① 「確かな学力」

対象	分野	質問内容	一昨年度		昨年度		今年度							
			指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	% (4) % (3)		あてはまる	% (2) % (1)		な あてはま いら
									よく	少し		あまり	まったく	
生徒	「確かな学力」	授業は工夫されており、分かりやすい。	11	3.40	6	3.44	5	3.46	50.5%	46.5%	97.0%	2.0%	1.0%	3.0%
		ペア学習やグループ学習の話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている。	7	3.45	5	3.47	6	3.46	56.4%	35.6%	92.1%	5.9%	2.0%	7.9%
		授業の最初に「めあて」が示され、最後には「ふりかえり」がされている。	15	3.11	16	2.95	17	3.02	22.8%	57.4%	80.2%	18.8%	1.0%	19.8%
		平日（月～金）において、学校が目指している各学年の時間（1年1時間40分以上、2年生2時間以上、3年生2時間20分以上）、家庭学習をしている。※塾での学習も含める。	18	2.62	18	2.50	18	2.52	13.9%	36.6%	50.5%	37.6%	11.9%	49.5%
		毎日、自主学習ノート（チャレンジノート）に取り組んでいる。	8	3.43	13	3.17	11	3.33	61.4%	18.8%	80.2%	14.9%	5.0%	19.8%
		授業でわからないことは、休み時間、放課後の学習会（がんばりタイム）などを通して、先生がていねいに教えてくれる。	16	2.93	15	3.03	13	3.25	42.6%	42.6%	85.1%	11.9%	3.0%	14.9%
保護者	「確かな学力」	学校は、授業を工夫し、分かりやすい授業をしている。	11	3.32	10	3.25	8	3.33	39.2%	54.4%	93.7%	6.3%	0.0%	6.3%
		学校は、ペア学習やグループ学習などの話し合う活動を授業に取り入れ、学習内容がよく理解できるようにしている。	6	3.48	6	3.39	7	3.37	44.3%	50.6%	94.9%	3.8%	1.3%	5.1%
		お子様は、平日（月～金）、学校が目指している各学年の時間（1年1時間40分以上、2年生2時間以上、3年生2時間20分以上）、家庭学習ができています。※塾での学習も含める。	17	2.87	17	2.57	18	2.66	22.8%	31.6%	54.4%	34.2%	11.4%	45.6%
		お子様は、毎日、自主学習ノート（チャレンジノート）に取り組んでいる。	10	3.33	11	3.21	9	3.32	59.5%	19.0%	78.5%	16.5%	5.1%	21.5%
		お子様が、授業でわからなかったことを、休み時間、木曜日の放課後（がんばりタイム）などを通して、教えてもらう機会がある。	18	2.63	18	2.50	17	2.82	24.1%	43.0%	67.1%	25.3%	7.6%	32.9%

考察

以前からの課題である「家庭学習の定着」の問題については、「生徒」「保護者」とともにこの分野の中では最も低い数値となっています。長期休暇中をはじめとして宿題を個別に設定したり、選択制にしたりするなど、工夫して取り組みを進めていますが、これは家庭学習を一律なものでなく、生徒が自分で課題を設定し、その課題を解決していくことを推奨していくとするものです。自主学習ノートの取り組みとあわせて各自にあった学習方法を模索してほしいと願っています。学校の授業と家庭学習がうまく接続され、毎日の学習の習慣化につながるように、家庭と連携して継続的に指導していく必要があると考えています。一方、「授業でのわからないことをていねいに教えてもらえる」は、「生徒」の85.1%が「あてはまる」と回答しています。今後もより積極的な関わりを継続していき、質問をしやすい雰囲気を高めていきたいと考えています。また、「授業の工夫」や「グループ学習」についても、「生徒」「保護者」とともに良好な結果を得ています。今後も引き続き生徒の実態を把握しつつ、工夫を重ねていくことが大切であると考えています。

分野② 「やさしい心」

対象	分野	質問内容	一昨年度		昨年度		今年度							
			指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	% (4) % (3)		あてはまる	% (2) % (1)		な あてはま いら
									よく	少し		あまり	まったく	
生徒	「やさしい心」	「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。	9	3.43	9	3.28	10	3.34	58.4%	24.8%	83.2%	8.9%	7.9%	16.8%
		道徳の時間にしっかり考えることができている。	2	3.62	4	3.49	4	3.52	58.4%	35.6%	94.1%	5.9%	0.0%	5.9%
		自分は丹波篠山が好きで、誇りを持っている。	13	3.33	10	3.28	12	3.30	47.5%	39.6%	87.1%	8.9%	4.0%	12.9%
保護者	「やさしい心」	お子様は、「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。	16	2.99	14	2.93	14	3.10	41.8%	36.7%	78.5%	12.7%	8.9%	21.5%
		お子様は、人が困っていたら、進んで助けたり手伝ったりすることができる。	8	3.41	5	3.44	6	3.49	58.2%	32.9%	91.1%	8.9%	0.0%	8.9%
		お子様は、「丹波篠山」が好きで、郷土愛を持っている。	13	3.25	12	3.08	13	3.14	35.4%	46.8%	82.3%	15.2%	2.5%	17.7%

考察

「道徳の時間にしっかり考えることができている」「人が困っていたら、進んで助けたり手伝ったりすることができる」が高数値を示しています。人に優しくしたり、人の気持ちを考える心が育っていると考えられます。一方、「『いじめ』を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する」の項目で、「あてはまる」が「生徒」で約83%ながらも「あてはまらない」が約17%あります。自分以外の人だけでなく自分自身も助けを必要とするときは安心して相談していいんだと思えるように、日常からの生徒との関わりをより一層大切に、いざというときに相談しやすい関係をさらに深めるとともに、相談窓口を周知するなど、一人で抱え込まないよう指導していきたいと考えています。また、ご家庭や地域との連携を大切に、変化を見逃さない環境を一層強化していく必要があると考えています。

分野③ 「たくましい心と体」

対象	分野	質問内容	一昨年度		昨年度		今年度							
			指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	% (4)	% (3)	あてはまる	% (2)	% (1)	なあてはまいら
									あてはまる			あてはまらない		
									よく	少し	あまり	まったく		
生徒	「たくましい心と体」	自分にはよいところがある。	17	2.87	17	2.84	15	3.15	34.7%	49.5%	84.2%	11.9%	4.0%	15.8%
		学校に行くのが楽しい。	12	3.35	12	3.21	8	3.41	55.4%	33.7%	89.1%	7.9%	3.0%	10.9%
		先生は悩みや思いをしっかりと聞いてくれる。	5	3.47	3	3.49	7	3.44	54.5%	36.6%	91.1%	7.9%	1.0%	8.9%
		家庭内や地域の中で、よくあいさつをしている。	4	3.49	2	3.63	2	3.62	65.3%	30.7%	96.0%	4.0%	0.0%	4.0%
		学校内や登下校中、安全に気を付けている。	1	3.62	1	3.65	1	3.65	66.3%	32.7%	99.0%	0.0%	1.0%	1.0%
		社会のルールや学校の生活の心得を意識して生活をしている。	3	3.49	8	3.39	9	3.41	49.5%	44.6%	94.1%	4.0%	2.0%	5.9%
		家庭内では親子でよく話をしている。	6	3.46	7	3.43	3	3.58	66.3%	26.7%	93.1%	5.0%	2.0%	6.9%
		部活動に意欲的に取り組んでいる。(入部していない場合は「0」)	10	3.41	11	3.27	14	3.16	78.8%	15.3%	94.1%	4.7%	1.2%	5.9%
		情報機器(自分や家族の携帯・スマホ・コンピュータなど)の使い方について、家庭で約束が決められており、守っている。	14	3.24	14	3.08	16	3.10	40.6%	35.6%	76.2%	16.8%	6.9%	23.8%
保護者	「たくましい心と体」	お子様は、学校に楽しく行っている。	5	3.51	7	3.29	5	3.55	67.1%	20.3%	87.3%	12.7%	0.0%	12.7%
		学校は、子どもの悩みや思いを聞いてくれる。	14	3.19	13	3.07	12	3.24	39.2%	46.8%	86.1%	13.9%	0.0%	13.9%
		お子様は、家庭や地域の中であいさつをしている。	2	3.61	4	3.49	4	3.57	62.0%	32.9%	94.9%	5.1%	0.0%	5.1%
		お子様は、登下校中など、安全に気を付けている。	1	3.68	2	3.60	3	3.57	63.3%	31.6%	94.9%	5.1%	0.0%	5.1%
		お子様に社会のルールを身につけさせるようにしている。	3	3.61	3	3.59	1	3.62	67.1%	27.8%	94.9%	5.1%	0.0%	5.1%
		家庭内では親子でよく対話している。	4	3.58	1	3.62	2	3.60	63.3%	32.9%	96.2%	3.8%	0.0%	3.8%
		お子様が現在、部活動に入部・活動している方にたずねます。お子様は、部活動に意欲的に取り組んでいる。(入部していない場合は「0」)	7	3.42	16	2.85	16	3.04	76.2%	20.6%	96.8%	3.2%	0.0%	3.2%
		情報機器(子ども本人のもの、家族のもの、一般的なもの)の使い方について、家庭で約束を決め、お子様に守らせている。	15	3.02	15	2.86	15	3.07	31.6%	43.0%	74.7%	24.1%	1.3%	25.3%

考察

「生徒」の「自分にはよいところがある」で、「あてはまる」の回答が84.2%となっています。平均指数も3ポイントを超え、自己肯定感の向上がみられます。反面、「まったくあてはまらない」の回答もあり、引き続き、多くの生徒がチャレンジできる場面を設定し、それぞれの生徒が挑戦することで自分に自信を持てるように指導することが大切であると考えます。また、「学校に行くのが楽しい」「先生は悩みや思いをしっかりと聞いてくれる」も「あてはまる」が高い数値となっています。この項目についても、「まったくあてはまらない」の回答があるので、学校が生徒にとって安全・安心な空間となるよう、積極的な関わりを継続していきます。

また、例年の傾向ではありますが、情報機器の取り扱いについては、「生徒」「保護者」ともに「家庭で約束が決められており、守っている(守らせている)」の項目について、「あてはまらない」の回答の割合が高くなっています。取り扱いについては、必ずご家庭でルールを話し合っただき、「守られているか」「具体的に適切な約束なのか」を定期的に見直す機会が必要であると思われます。また、情報機器の使用時間だけでなく、情報機器の使い方や内容についても確認しながら、有益な利用につなげていく必要があると考えます。

分野④ 「連携・協働」

対象	分野	質問内容	一昨年度		昨年度		今年度							
			指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	% (4)	% (3)	あてはまる	% (2)	% (1)	なあてはまいら
									あてはまる			あてはまらない		
									よく	少し	あまり	まったく		
保護者	「連携・協働」	学校だより、学級だより、保健だより、ホームページなどを通して、学校の様子がよく分かる。	12	3.30	9	3.26	11	3.27	38.0%	53.2%	91.1%	7.6%	1.3%	8.9%
		学校は、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、連携を積極的に進めている。	9	3.36	8	3.27	10	3.32	38.0%	55.7%	93.7%	6.3%	0.0%	6.3%

考察

概ね高い水準を示しています。今後も学校の教育活動について、より多くの関心を持っていただけるよう情報発信の仕方について工夫をしていきます。